

報告

石狩市民図書館へ寄贈しました

中古本リサイクル市で得られた収益金を石狩市（市民図書館）へ寄贈いたしました。寄付金は図書の購入に充てられ市民の皆さんに還元されます。本を寄付してくださった皆様ありがとうございました。また雑誌スポンサー制度を利用し、「北海道じゅらん」と「文藝春秋」の寄贈も継続中です。



10月9日



報告 国勢調査オンライン回答支援ブースを設置しました

石狩市から業務委託を受け、オンライン回答支援ブースを設置しました。「国勢調査をインターネットで回答をしたいけれど操作が不安」という方も安心してご利用いただけます。ぽぽらーと職員がタブレットの操作をお手伝いさせていただきました。利用していただいた方からは、「文字を書くのが辛くなってきたので、ぽぽらーとがって良かった」「一人では時間がかかるところを、サポートしてもらえてスムーズに進められた」など、ありがとうございました。

9月20日～10月22日

報告 展示コーナー

初開催となる杉山徳司さんの展示会では、王維の詩『酌酒與裴迪』の作品を展示了しました。

10月6日～10月21日



報告

11月8日

冬の“もしも”にそなえて 石狩市冬季避難所体験訓練

第二回目となる「石狩市冬季避難所体験訓練」を開催しました。はじめにスマートフォンに石狩市行政情報ポータル【いしポ】アプリをインストールしてもらいました。【いしポ】は石狩市からのお知らせや、災害時の緊急情報を受け取ることができます。つぎに新聞紙を使った簡易スリッパを作りそれを履いて訓練を開始。防災マスターに教えてもらう災害時に役立つロープの結び方の実演練習や備蓄品の展示もあり、参加者は災害時の生活を具体的にイメージしながら学ぶことができました。AR（拡張現実）技術を活用した初期消火器体験では、仮想空間で火災の発生状況を再現、初期消火の重要性を実感する機会となりました。体験の締めくくりには、石狩産の野菜と「望来豚」を使用した地産カレーを食べてもらいました。災害時には食器を人数分用意できない場合もあることから、チラシを折って手作りした紙皿を使用しました。災害が発生した際に自分や家族の命を守るために、日頃からの備えが欠かせません。今一度、ご家庭でも、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

↓ロープの結び方実演練習



↓ARを使った初期消火器体験



助成金情報

- 2026年度 障がい者団体助成事業
日本理学療法士協会
【問合せ】公益社団法人 日本理学療法士協会
【応募期限】～2026年1月8日



- 菅井グリーン基金～生活困難世帯に対するサポート活動への助成～
【問合せ】公益財団法人 公益推進協会
【応募期限】～2026年1月30日



- 2026年度 ほっくーネイチャーポジティブ基金
【問合せ】北海道生物多様性保全活動連携支援センター
【応募期限】～2026年1月30日



※助成金についての詳細は、団体のHPをご覧ください